

令和3年6月 東京地区百貨店売上高概況

令和3年7月26日

I. 概況

1. 売上高総額	1,086億円余
2. 前年同月比(増減率)	3.7%(4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭5.4%(89.3%)：非店頭-8.6%(10.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 24店 (令和3年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	802,922㎡ (前年同月比：-2.6%)
6. 総従業員数	15,777人 (前年同月比：-4.6%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 -21.7%、12-2月 -21.0%、1-3月 -12.4%、 (店舗数調整後) 2-4月 26.5%、3-5月 63.6%、4-6月 51.3%

【参考】 令和2年6月の売上高増減率は-24.3% (店舗数調整後)

【特徴】

- (1) 6月の東京地区は、3度目の緊急事態宣言に伴い臨時休業や時短営業を実施したが、21日にまん延防止等重点措置に移行後は、高齢層のワクチン接種拡大等もあって、徐々に客足が戻ってきた店舗もあり、入店客数(6.4%増/3か月連続)、売上高(3.7%増/4か月連続)ともに前年実績を上回った。一方、前々年(2019年)対比では、売上高(21.5%減)・入店客数(41.7%減)のいずれも厳しい状況が続いている。
- (2) 商品別では、主要5品目のうち衣料品(3.7%減)を除く4品目が4か月連続プラスとなった。衣料品は全般的に減少傾向を示す中、婦人服・洋品(1.5%増)でワンピースや夏素材に動きが見られたほか、ゴルフ、アウトドア、スポーツ関連は比較的堅調に推移した。雑貨(12.4%増/4か月連続)は、高級時計などの高額品(美・宝・貴/35.9%増)の高伸が継続しており、全体の売上を牽引した。
- (3) 食料品(7.2%増)は飲食店での酒類提供制限の影響から、和洋酒が好調で父の日ギフト需要も後押しした。また、都心出勤者の増加により惣菜(13.0%増)や手土産需要で菓子(12.2%増)が好調を維持している。家庭用品(6.3%増)はキッチン用品、調理家電の堅調に加え、ブライダル関連の引き出物として特選和洋食器に動きが見られた。
- (4) 月後半からスタートしたクリアランスは、昨年が緊急事態宣言解除後の月初から開始した反動や、衣料品メーカーの在庫調整による品不足などから苦戦している一方、中元は各社ECが伸長し、店頭と合わせほぼ前年並みで推移している。
- (5) 7月中間段階の商況は、13.1%増(7/15)で推移しているが、前々年比では約23%減と先月よりは回復したものの、依然として厳しい状況が続いている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 +0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数16店舗)
①増加した：8店、②変化なし：2店、③減少した：6店
- (3) 6月歳時記(父の日、中元)の売上 (同上/有効回答数12店舗)
①増加した：2店、②変化なし：5店、③減少した：5店

東京地区百貨店 売上高速報 2021年6月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	108,638,465	100.0	3.7
紳士服・洋品	7,432,038	6.8	-8.6
婦人服・洋品	15,498,407	14.3	1.5
子供服・洋品	1,468,809	1.4	-14.4
その他衣料品	1,516,640	1.4	-15.9
衣 料 品	25,915,894	23.9	-3.7
身のまわり品	14,956,081	13.8	3.9
化粧品	8,722,283	8.0	-1.4
美術・宝飾・貴金属	9,888,439	9.1	35.9
その他雑貨	3,583,290	3.3	-0.9
雑 貨	22,194,012	20.4	12.4
家 具	1,207,953	1.1	0.7
家 電	857,213	0.8	37.5
その他家庭用品	2,854,315	2.6	1.8
家 庭 用 品	4,919,481	4.5	6.3
生 鮮 食 品	4,998,438	4.6	-1.9
菓 子	8,770,587	8.1	12.2
惣 菜	6,544,377	6.0	13.0
その他食料品	14,566,545	13.4	5.2
食 料 品	34,879,947	32.1	7.2
食 堂 喫 茶	1,320,921	1.2	2.0
サ ー ビ ス	1,429,006	1.3	-0.6
そ の 他	3,023,123	2.8	-20.3

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	3,231,889 千円	-10.6
従業員数	15,777 人	-4.6
店舗面積	802,922 m ²	-2.6

営業日数	30.0 日	前年	29.9 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は衣料品を除く4品目が4か月連続のプラスとなった。
その他の品目は、婦人服・洋品が4か月連続、美術・宝飾・貴金属が5か月連続でプラスとなったが、生鮮食品が3か月ぶりのマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	3.7	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	-8.6	-0.7	4か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	1.5	0.2	4か月連続プラス
子供服・洋品	-14.4	-0.2	4か月ぶりマイナス
その他衣料品	-15.9	-0.3	4か月ぶりマイナス
衣料品	-3.7	-1.0	4か月ぶりマイナス
身のまわり品	3.9	0.5	4か月連続プラス
化粧品	-1.4	-0.1	4か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	35.9	2.5	5か月連続プラス*
その他雑貨	-0.9	-0.0	4か月ぶりマイナス*
雑貨	12.4	2.3	4か月連続プラス
家具	0.7	0.0	3か月ぶりプラス
家電	37.5	0.2	7か月連続プラス
その他家庭用品	1.8	0.0	4か月連続プラス
家庭用品	6.3	0.3	4か月連続プラス
生鮮食品	-1.9	-0.1	3か月ぶりマイナス*
菓子	12.2	0.9	4か月連続プラス*
惣菜	13.0	0.7	4か月連続プラス*
その他食料品	5.2	0.7	4か月連続プラス*
食料品	7.2	2.2	4か月連続プラス
食堂喫茶	2.0	0.0	4か月連続プラス
サービス	-0.6	-0.0	4か月ぶりマイナス
その他	-20.3	-0.7	4か月連続マイナス
商品券	-10.6	-0.4	4か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>